

2024年2月15日

当院で脳梗塞の治療を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2016年9月～2027年3月の間に、原因不明脳梗塞と診断され、植込み型心電計を留置した方

【研究課題名】植込み型心電計を留置した原因不明脳梗塞患者の後ろ向き観察研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 脳血管内科 部長 古賀 政利

【研究の目的】植込み型心電計を留置した原因不明脳梗塞患者において、発作性心房細動の検出と関連する因子について検討します。植込み型心電計による発作性心房細動の検出と、脳梗塞の重症度、脳梗塞再発との関連を検討します。

【利用する診療情報】

年齢、性別、入院日、既往歴（高血圧、糖尿病、脂質異常症、心房細動、虚血性心疾患、脳卒中既往、心不全、慢性腎不全、透析、喫煙、飲酒、その他）、発症前内服薬、入院時症状、入院前後バイタルサイン、血液検査（血算、肝機能検査、腎機能検査、凝固能検査、トロポニンT）、12誘導心電図、24時間ホルター心電図、植込み型心電計記録、経食道/経胸壁心エコー、CT・MRI画像、治療内容、臨床経過（脳梗塞発症から90日後の転帰など）

【研究期間】研究許可日より2029年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

本研究計画は将来、研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。

【外部機関への情報等の提供】

この研究で収集した情報を、以下の機関で行われるメタ解析（過去に行われた複数の研究結果を統合し、より信頼性の高い結果を求める解析手法）のため、情報提供致します。提供の際は、あなたのお名前等は記載せず、個人を直接特定できないようにします。

機関名：Western University（カナダ）

研究責任者：Luciano A. Sposato

研究の目的：植込み型心電計によって検出された心房細動のうち、病的意義の大きい心房細動がどのようなものであるかを明らかにし、病的意義の大きい心房細動の検出を予測するスコアリングシステムを作成することを目的としたメタ解析

情報の提供方法：電子的配信（パスワードによるアクセス制限）

提供する診療情報：年齢、性別、既往歴（高血圧、糖尿病、脂質異常症、虚血性心疾患、脳卒中既往、心不全）、血液検査（血算、肝機能検査、腎機能検査、凝固能検査、トロポニンT）、24時間ホルター心電図、植込み型心電計記録、経食道/経胸壁心エコー、CT・MRI画像

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 脳血管内科 担当医師 鴨川 徳彦

住所 564-8565 大阪府吹田市岸部新町6番1号

電話 06-6170-1070(代表)